

地球温暖化対策（省エネルギー）の取り組み

各事業所では、エネルギー使用設備の改善と運用の効率化の両面から、ムダ・ロスの排除を行う省エネルギー活動に取り組んでいます。

事例:太陽光発電システム導入(太田工場)

太田工場では、2020年度に共用建屋の屋根上に定格出力250kWの太陽光発電システムを導入しました。

この太陽光発電システムは、発電事業者が無償で屋根上に設置し、定期的にメンテナンスを行います。発電した分は、当社(IHI原動機)が一律の単価で支払うというPPA方式での導入となり、2020年7月13日から正式に運用を開始しております。

2020年8月～2021年3月の効果実績としては、合計236,633kWh(原油換算:61kL)発電し、全体電力量の約8%を供給することができました。

また、同時進行で工場空調を順次導入していますが、増加した電力を太陽光発電でカバーすることができており、デマンド対応としても有効に機能しています。

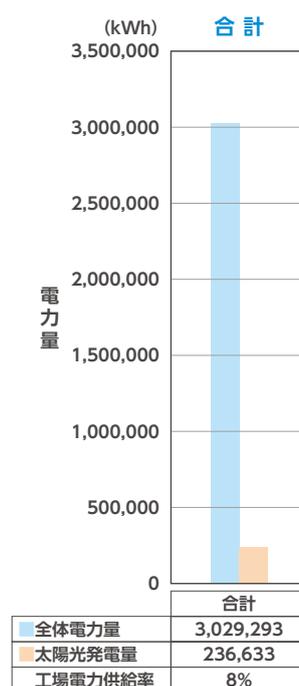
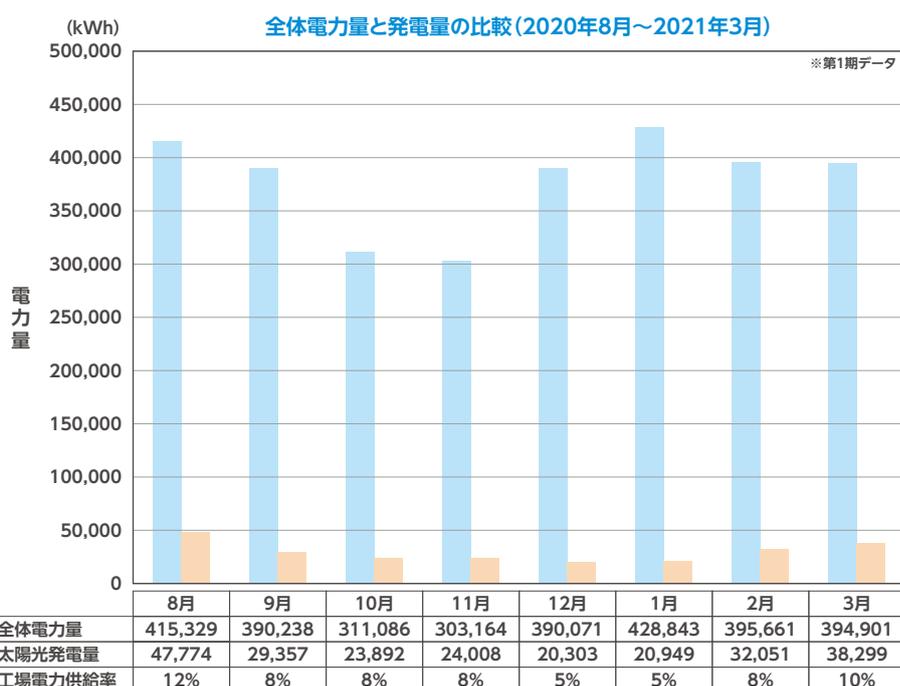
なお、2021年度には第2期工事としてカスタマーサポートセンター(CS)倉庫屋根上へ150kWの太陽光設備を追加し、2021年5月1日より発電開始しております。

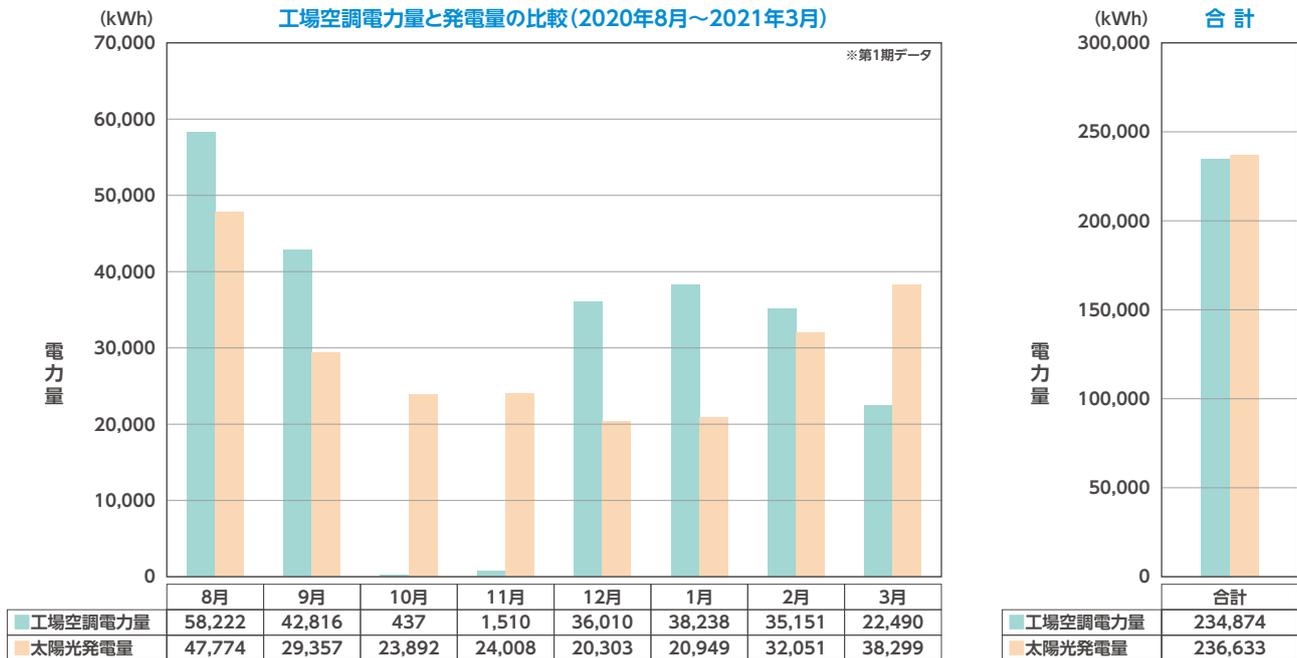
今後も地球温暖化問題への取り組みとして、化石燃料由来のエネルギー使用を抑え、再生可能エネルギーの利用を推進していきます。



● 第1期太陽光発電（共用建屋）

定格出力	250kw
設置パネル	330W × 1,024枚
PCS容量	50kW × 5台
削減CO ₂	108t -CO ₂
工場電力供給率	8%





事例: 除雪作業による地下水利用の削減 (ニコ精密機器株式会社)

当社(ニコ精密機器株式会社)がある新潟県南魚沼地域は日本有数の豪雪地帯であり、特に今シーズンは1月初旬から2mを越える大雪となりました。そのため、冬期間は地下水を利用した消雪パイプを建屋周辺や屋根に這わせ消雪をしていますが、短期間で大量の降雪や、地域で大量の地下水を汲み上げるため井戸の枯渇による水量不足で消雪しきれず、大量に雪が残りました。

当社でも工業用・消融雪用として7本の井戸が設置されておりますが、年々水量は減少傾向です。また、地下水利用による地盤沈下がこの地域の大きな課題となっ

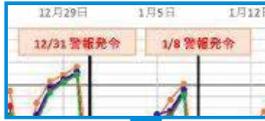
ています。

そこで、社内各部署から有志を募り除雪作業を行いました(12月は18・24・25日、1月は12・14・15日で各日十数人参加。班長会でも数回除雪作業を実施)。

出勤前、帰宅後、さらに週末と自宅での除雪作業で疲労困憊の中、皆さんが協力してくれました。

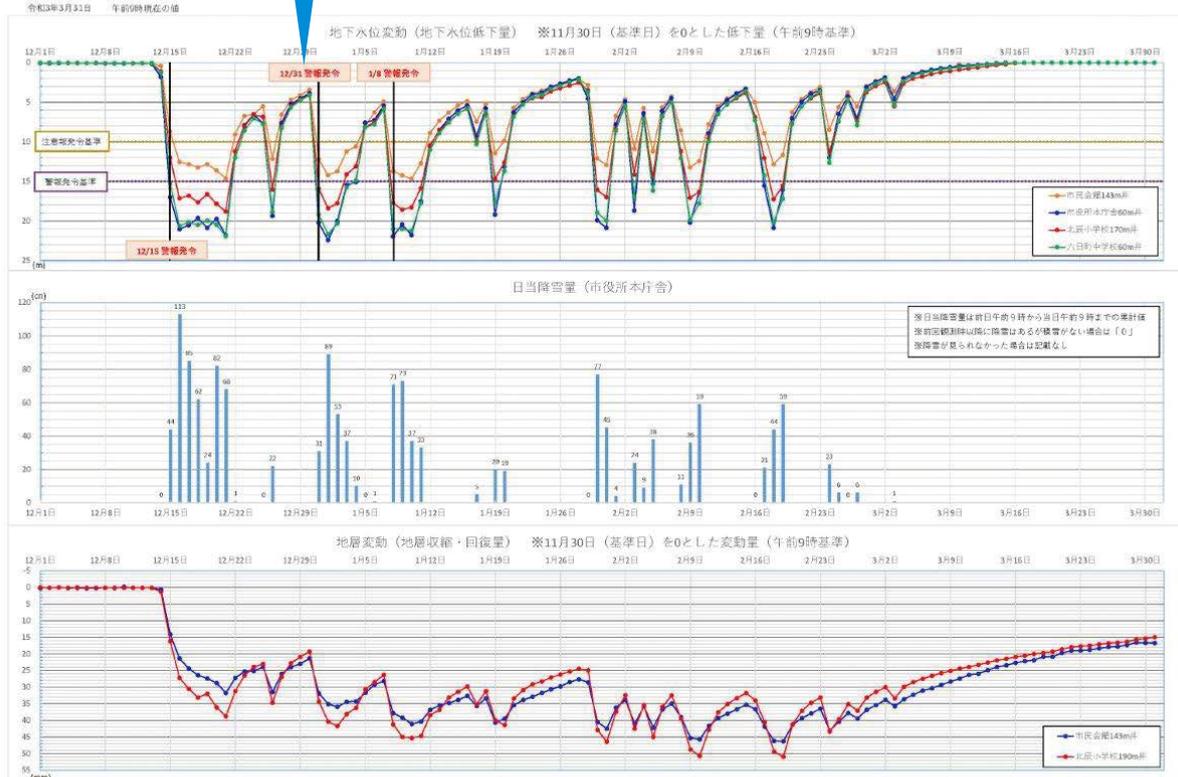
今後は、地下水を必要以上に使用せず、機械除雪・人力除雪も活用していきたいと考えています。地下資源、地域環境、省エネルギーを考慮し、雪に負けず自然と共存しながら生産活動を行っていきます。





警報は、地下水位が
11月30日の基準値から15メートル以上低下し、
継続して低下するおそれがある場合であり、
警報発令されると市内に節水要請を行います

令和2年度 降雪量及び観測井戸データ



※南魚沼市役所HPより